

2025.11.25

令和7年笛吹市議会第4回定例会の告示に伴う
記者会見質疑応答（要約）

■記者

御坂中学校解体工事の入札が不調になったということで、今後のスケジュールなど影響を教えてください。

■市長

人件費、物価の高騰で予定価格が合わなかつたこと、また解体現場が狭く、年度内の解体工事完了が厳しいことなどもあり不調となりました。今後は解体工事を2期に分けて、内側と外側の解体を別々で発注します。

■財政課長

スケジュールですが、解体工事の2期目が令和8年3月に完了し、同月に3期目の契約を行い、3期目解体工事の完了が6月。5月に外構とグラウンドの整備の契約を行い、8月に完了。8月に柔剣道場改修の契約を行い、柔剣道場の完了が11月の予定となっています。

■記者

工事の完全終了はいつになりますか。

■市長

新校舎の使用は、令和8年中に先生方に引っ越しを頑張っていただいて、令和9年1月の3学期からを予定しています。

■財政課長

先ほど柔剣道場の完了が令和8年11月と説明しましたが、それが最終工事となります。

■記者

1年後ということですね。わかりました。

■記者

水道料金の条例の改正について、金額がどう変わるのか、いつを目途に変わらるのか、具体的な理由についてお伺いします。

■市長

合併して笛吹市なってから、私が市長に就任するまでの 12 年間、一度も水道料金を上げていませんでした。

12 年の間、上下水道合わせて、一般会計から特別会計へ毎年 10 億円を繰出していました。

そのため、笛吹市は毎年 15 億円ぐらいの借金をずっと重ねてきました。

合併してから 12 年間で 150 億円借金を増やしてきました。

本来であれば、合併で効率化によって借金が減るところが、増やしてきました。

10 億円を毎年繰出していくことを、いつまでも続けていくわけにはいかないため、私が就任してすぐに市民の皆さん、また議会の皆さんにも御理解いただく中で、料金改定について上下水道審議会に諮問し、44%の値上げの答申をいただきました。

そうは言っても 44%一気に上げるというわけにはいかないため、7 年前に 24%上げさせてもらいました。

その後、どこかのタイミングで残り 20%の料金改定を行う予定でしたが、コロナ禍により、改定することが出来ませんでした。

また、ここに来て県からの下水道負担金が 1 億円近く増えました。

工事による人件費も上がっており、企業会計も厳しい状況ですが、市としても努力して頑張っていきますので、物価高で景気が厳しい中ですが、今度 20%上げさせていただくということとなりました。

■総合政策部長

水道料金の実際の金額につきましては、20%上げるということで、メータ一口径 13 ミリで 22 立方メートル使用した場合、現行料金 2,890 円だったものが、新料金は 3,440 円になります。下水道料金につきましては、23 立方メートル使用した場合に、現行料金 2,508 円だったものが、新料金は 3,009 円になります。

■記者

改定の大きな理由は。

■市長

構造的な赤字体質を少しでも改善するということです。

■記者

わかりました。

将来的には赤字幅を縮小させて、さらに改善していく考えですか。

■市長

単年度の赤字幅は、市民の皆さんに御協力いただいて縮小されます。

先程も言いましたが、県へ支払っている下水道負担金額も上がっています。

また、市の下水道を維持していく工事費等も上がっており、赤字は3億から3億5千万円が想定されますが、そこは一般会計から繰入れようと、しかし市民の皆様にも御協力いただこうという思いです。

この景気の悪いときに水道料金を上げるのに、無策ではありません。

来年度4月1日から学校給食費の無償化、保育料の無償化、保育所の給食費無償化の3点セットを実施します。

要するに私は、この財源をある意味水道料金で賄っていきたい。

お金に色は付いていませんが、値上げにより市民の皆さんに御協力いただいた3億円を無償化の財源にしていきたい。

一度始めて来年やめますというわけにいかないため、恒久的な財源をしっかり確保した上で、こういう事業に取り組んでいかないとならないということなので、今回のこの水道料金を上げることは、色々なものに連動しているということです。

■記者

物価高対策は別でメニューが用意されているということですか。

■市長

はい。

■記者

水道料金の赤字を将来的に0にしたいということでしょうか。

■市長

厳しいと思います。

ただ、もっと色々改善していかなければならぬところがたくさんあると思います。県とも協議していますが、下水道公社の事務を指定管理者が担う等、少しでも経費を縮小させて、負担金が減少し、市の負担ができるだけ少なくなるような取り組みも考えていきます。

■記者

先程述べられていた3点セットの進捗状況と実現性について教えてください。

■市長

学校給食費無償化は昨年度から実施しています。

0歳から2歳までの保育料無償化、保育所の給食費無償化は、議決されると思います。

これは県内初だと思います。

■記者

わかりました。

■記者

境川の山蘆について、市が管理を始めるのは令和8年度からという理解でよろしいですか。

■政策課長

山蘆の管理については、所有者である飯田氏が市に寄付をした上で、後世に適正に引き継いでほしいという意向を示されたことを踏まえ、市としては令和8年4月から管理運営することを前提に検討を進めてきました。

しかし、山蘆には水道工事や下水道工事が必要になることが判明したため、令和8年4月から、市が施設の維持管理を行うものの、施設を一時休館し、その間に工事を終わらせる予定です。その上で、9月から改めて市の施設として、施設の運営を開始する考え方の下、所有者である飯田氏と協議をしている状況です。

■記者

オープンした際に、市の職員の方が山蘆に配置されるのか、どんなふうに運営していくのか、もし決まっていれば教えてください。

■政策課長

運営面については、今現在の想定では、飯田氏が代表となっている一般社団法人山蘆文化振興会という団体に、当面は業務委託を考えています。

令和9年度からは、指定管理に出していくことを想定した中で今進めているところです。

以上